

2022年7月8日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

保有株式の売却について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、保有する香港の金融グループである Dah Sing Financial Holdings Limited（以下 大新 FH）の全株式の売却（以下 本株式売却）を決定し、その一部を売却しました。一部売却後、残りの保有する大新 FH 株式は 2022 年度中に市場で売却する予定です。

1. 株式一部売却の内容

売却普通株式数	31,637,935 株
売却日	2022年7月7日
売却後保有株数	319,575 株

2. 株式売却の理由

MUFG は、今中期経営計画の主要戦略の 1 つとして掲げる「構造改革」のうち、「事業ポートフォリオ見直し」の一環として、グローバルベースでの経営資源の最適化を進めており、MUFG グループ各社による戦略出資に関して、その戦略性や資本効率等の観点から見直しを行っております。

今回、全株式を売却することになった大新 FH は、香港の主要な金融グループであり、2000 年に当行の前身である三和銀行が出資して以来、20 年以上にわたって強固な関係を構築してまいりました。2019 年 1 月 23 日に公表いたしました大新 FH の株式一部売却^[1]後も、MUFG および当行を取り巻く環境変化を踏まえ慎重な検討を重ねた結果、今般、全株式を売却する結論に至りました。本株式売却に伴い、資本・業務提携は終了いたしますが、大新 FH が当行にとって香港における重要なパートナーであるという位置付けは不変です。

当行は、1952 年に前身の東京銀行が香港に出張所を開設して以来、70 年にわたり香港で活動されるお客さまを支援してまいりました。引き続き、当地に根差した金融サービスを拡充し、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

3. 業績に与える影響

本株式売却が MUFG および当行の当期の業績に与える影響は軽微です。

^[1] 2019 年 1 月 23 日付の「保有株式の売却について」は以下をご参照ください。

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2019/pdf/news-20190123-002_ja.pdf

以 上